

競 技 注 意 事 項

1. 規 則

本大会は 2022 年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則および大会申し合わせ事項によって行う。

2. 練 習

トラックの外側を使用すること。但し、投てき・跳躍は係員の指示により実施する。競技運営に支障を来たさない限り、本トラックを一部開放する。ただし、競技役員の指示に従うこと。

3. 招 集

- ① 本競技会では招集所での招集（いわゆる第1次コール）は行わない。
- ② 集合時刻（競技順序に記載）に競技場所へ集合し、現地でチェックを受けること。
- ③ 集合時刻に競技場所にはいない競技者は当該種目を欠場したものと処理する。

4. アスリートビブス

- ① トラック競技のアスリートビブス・腰ナンバー標識は次の通りとする。

	100m・200m・400m・100mH 110mH・400mH・4×100mR	800m・1500m・4×400mR	3000m・5000m・3000mSC 5000mW
アスリートビブス	登録番号を各自で用意	登録番号を各自で用意	レーンナンバーの 特別アスリートビブスを貸与
腰ナンバー標識	登録番号を各自で用意 ※4×100mR は 4 走のみ	レーンナンバーを各自で用意 ※4×400mR は 2～4 走のみ	レーンナンバーを各自で用意

- ② 主催者が用意する特別アスリートビブスは、プログラムでレーンを確認した後、招集所から各自で持っていくこと。（招集所は本部ダッグアウト内に設ける）なお、レース終了後、フィニッシュ地点で返却をすること。また、腰ナンバー標識用も含め、安全ピンは各自で用意すること。
- ③ アスリートビブスは 2 枚を胸背部に付けること。ただし、跳躍競技はいずれか 1 枚でよい。

5. 走路の決定及び競技順序

トラック競技予選の走路及びフィールド競技の試技順はプログラム記載通りとする。

6. リレー

- ① リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し、集合時刻の 1 時間前までに招集所に提出すること。その後、集合時刻に各走者のスタート地点付近でチェックを受けること。
- ② リレー競技に出場するチームのユニフォームは、4 名統一した物を着用することが望ましい。

7. 跳躍競技のバーの上げ方

審判長及び跳躍主任の判断により、係員が指示する。

8. 検 査

用器具の検査は、両日とも 8：30～9：45 に行う。検査の対象は棒高跳のポール、および投てき物とする。

9. トラック競技

- ① トラック競技の決勝の番組編成は、本部で抽選し掲示する。
- ② 予選を行う種目において出場者が 8 名以下となった場合、予選を行わずその出場者で決勝を行う。決勝の番組編成は本部で抽選し、掲示する。また、タイムレース決勝で行われるリレー競技について、オーダー用紙の提出〆切時に出場チームが 8 チーム以下だった場合、本部にて番組編成を行い 1 組で競技を実施する。
- ③ 400m までの種目およびリレー競技において、同タイム者（チーム）については判定写真を細部（電気計時 1/1000）まで読み取り着差を判定する。それでも判定できない場合は、同タイム者または代理人によって抽選する。
- ④ スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1 回目の不正スタートで失格とする。
- ⑤ イエローカード（以後、YC と称す）に関して、当大会では国内ルールを適用し、以下の様に運用する。
(ア) TR16.5 の規定により TR16.5.1～3 のいずれかの行為を行った時、YC を提示し警告を与える。この場合他種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。
(イ) 同一種目で 2 回の YC を受けた競技者は、当該種目を失格とする。但し、それ以後の他の種目の出場は可能である。YC の累積は、該当種目のみに適用する。

10. 入賞および得点

【湘南地区】

- ① 入賞は 8 位までとする。
- ② 得点は各種目 1 位 8 点、2 位 7 点、…8 位 1 点とする。
- ③ 合計得点により、男女別学校順位を決定する。（同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。）

【横三地区】

- ① 入賞は 8 位までとする。
- ② 得点は各種目 1 位 8 点、2 位 7 点、…8 位 1 点とする。
- ③ 合計得点により、男女の学校順位を決定する。（同点の場合は上位種目の多い方を上位とする。）

1 1. 表 彰

【湘南地区】

- ① 各種目 6 位まで賞状を授与する。
- ② 学校別表彰は、男女とも 6 位まで賞状を授与する。

【横三地区】

- ① 1 部、2 部、共通各種目 3 位まで賞状を授与する。
- ② 学校別表彰は、男女とも 6 位まで賞状を授与する。

1 2. その他

- ① 競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。
- ② プログラムに誤記がある場合は、8:30 までに本部まで申し出ること。
- ③ 参加各校の生徒役員（各校 2 名以上）は、8:15 に本部前に集合すること。
- ④ 待機場所としてのテント設置可能区域は、スタンド後方およびスタンドの指定された場所のみとする。
※不入斗公園内のプール・体育館・野球場周辺を待機場所には絶対にしないこと。
- ⑤ 正面スタンド前の手すりをまたぎ越してはならない。
- ⑥ 応援はスタンドで行うこと。トラック・フィールドへの役員・競技者以外の立ち入りを禁ずる。
- ⑦ 大会中は競技マナーを守り、ゴミ処理・貴重品の管理にも留意すること。
- ⑧ 各校の横断幕、のぼり等は正面スタンドには張らないこと。
- ⑨ 競技場の開門は 7:00（予定）とする。それ以前には入場しないこと。
- ⑩ 競技会終了後は、直ちに退場すること。
- ⑪ 準備、片付けは両地区の参加各校で協力して行う。
- ⑫ 競技終了後は自席の清掃をし、ゴミは各自で必ず持ちかえること。

◆競技会における事故防止について

- ① 競技場では、決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。競技開始前の練習については、アナウンスでレーン規制を連絡するので指示に従うこと。
- ② 競技会に参加の競技役員、競技者、生徒役員以外は、トラック、フィールドに立ち入らない。
- ③ 競技開始前、練習時間においては競技役員・顧問が協力し巡回指導を行うので指示に従うこと。
- ④ トラック・フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。
- ⑤ 周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。

◆撮影に関するお願い（学校関係者のみなさま）

◆競技者の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください

① 撮影は全て、スタンドから行ってください。※バックストレートやトラック周辺での撮影は禁止です。

② 盗撮・透過撮影行為防止のため、競技者に迷惑のかかる恐れのある撮影・行動を禁止します。

例・トラック種目のスタート時の前方・後方からの撮影は禁止。

- ・走高跳、走幅跳、三段跳、棒高跳等の助走後方や着地正面からの撮影は禁止。
- ・走高跳、棒高跳等のマットに向かった正面（クリアランス動作中）からの撮影は禁止。
- ・投擲種目における選手の正面からの撮影は禁止。
- ・競技者がスターティングブロックを合わせている際や試技を待っている間など準備を行っている際の撮影は禁止。
- ・その他、競技者の迷惑と思われる撮影は禁止。

③ 他者に著しく迷惑をかける行為として主催者側で判断した場合は、すみやかに警察及び関係機関に連絡します。

④ 撮影の仕方が不自然な場合や、盗撮が疑われる場合には、競技役員が撮影内容の確認をさせていただきます。

⑤ 競技運営上、競技役員の判断により、撮影禁止エリアを設ける場合があります。

⑥ その他、上記の内容も含めて、競技運営上の都合により（大会当日を含む）変更する場合があります。その際には競技役員の指示に従ってください。

※ 盗撮行為や迷惑行為を発見された場合は、お近くの競技役員までお知らせください。発見次第、記録媒体を没収の上、所轄警察署に通報します。